

### 発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟  
[www.hamanasu.com./dohekire](http://www.hamanasu.com./dohekire)

委員長 田中 和 敏

編集責任者 伊藤 孝 一

印刷所 株式会社ビジネスサポート

虻田郡豊浦町字東雲町48-18 TEL0142-82-3313

題字 書家 濱谷 彩鶴（はまや さいかく）氏

田中 和敏 氏（上川） 委員長再任

## 平成28年度 定期総会 を 開催

5月13日(金) 於 ホテル ライフオート札幌



### 道へき・複連活動の一層の充実を目ざして

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 田 中 和 敏

平成28年度の総会において、委員長に再任されました上川管内中富良野町立旭中小学校の田中和敏でございます。平成27年度は、全道各地区の役員をはじめとする会員の皆様の強力なバックアップのもと、どうにか重責の一端を果たすことができました。心よりお礼申し上げます。

また、高田総務部長はじめ今期をもって退任されました役員、研究推進委員の皆様には、へき地・複式教育に向けられた情熱に敬意を表するとともに、連盟の活動に対するご尽力に感謝申し上げます。

さて、昨年度へき地級の指定見直しが行われ、1月から施行されています。報道によりますと、全道でへき地級の指定を受けた学校は平成27年度当初より30校増え841校となり、189校ではへき地指定級が上昇し、50校で下降したとのことです。へき地級の指定を受けた学校やへき地指定級が上昇した学校が増えた正確な要因は分かりませんが、公共交通機関の運行本数の減少、スーパーマーケットや医療機関の撤退等、児童生徒を取り巻く生活環境の悪化が想像できます。

一方、今年度の複式学級を有する学校については、多くの管内から小規模・複式校の統廃合の話が聞こえてくることから、一段と減少していることが予想されます。このことは、複式教育の経験者の減少など、複式授業の基本技術の継承などに大きな影響をもたらしています。

このような中、へき地・複式教育の一層の充実に向け、本連盟の歩んできた歴史や積み重ねてきた研究の成果等を再確認することの重要性が指摘されています。そこで、総会后、短時間ですが、北海道へき地・複式教育研究連盟OB会の梅木登喜雄会長様にご講話をお願いいたしました。60年以上の本連盟の歩みなどを通して、本連盟の果たすべき役割や今後の活動の在り方を考える場となりました。概要を8ページに掲載いたしましたので、ご一読ください。

また、本連盟の最大の使命は、へき地・複式教育における実践力の向上です。そのためには、第65回全道へき複式教育研究大会渡島大会、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会の充実が重要となります。主管する渡島複式教育研究連盟、釧路へき地・複式教育研究連盟を中心に、昨年の宗谷大会、渡島プレ大会の成果と課題を整理し、へき地・複式校の課題解決に向けた成果を広く共有できる大会を目指しますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

おわりに、北海道教育委員会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道立教育研究所、北海道教育大学、道へき・複連OB会など、関係機関の皆様には、今後も本連盟活動充実のために、ご理解、ご支援くださいますようお願い申し上げます。道へき・複連情報156号発行に当たってのご挨拶といたします。

## 平成28年度 定期総会の概要

5月13日(金)、ホテルライフオーソ札幌において、平成28年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会を全道14地区から代議員の出席を得て開催しました。

この総会にご来賓として、北海道教育庁学校教育局 指導担当局長 岸 小夜子様をはじめ、北海道小学校長会、北海道へき地・複式教育研究連盟OB会、など3名のご臨席をいただきました。

総会は、釧路・根室地区の松村・清水両代議員を議長に選出し、次第にそって進められました。

また、後半は初めての試みとして、役員・代議員を対象とした研修会を開催しました。

### ◇主な総会内容◇

#### 1. 業務報告

##### (1) 平成27年度会務報告

- ①事務局 (会務報告、一般経過報告、その他)  
②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部

##### (2) 平成27年度組織検討委員会報告

##### (3) 平成27年度会計決算報告

##### (4) 平成27年度会計監査報告

#### 2. 議 事

##### (1) 平成27年度各部会務報告承認に関する件

##### (2) 平成27年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件

##### (3) 平成28年度活動方針並びに各部活動計画について

- ①事務局 ②総務部 ③研究部  
④大会部 ⑤財政部

##### (4) 平成28年度会計予算に関する件

##### (5) 第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会について

##### (6) 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会について

#### 3. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました方々に感謝状が贈呈されました。

総務部長	高田 宏昭 氏
大会部長	井村 雅彦 氏
監査委員	小澤 浩幸 氏
財政部長	小山 寿樹 氏
研究推進委員	大久保 篤 氏
”	菊地 和孝 氏
”	五十嵐重信 氏
”	梅津 和広 氏
”	本間 博樹 氏

## 平成28年度 活動方針・各部計画

### ◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

- 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。
  - 第9次長期5か年研究推進計画3年目の研究に取り組む。
  - 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
  - 第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会の成功に向け取り組む。
  - 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会の取組を推進する。
  - 全道、各地区の研究成果を還流する。
- 組織の強化と充実に努める。
  - 各地区へき・複連との連携、組織の強化を図る。
  - 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
  - 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
  - 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
  - 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
  - 適切な予算執行に努める。
  - 連盟OB会等との連携を図る。
- 教育条件の整備と拡充に努める。
  - へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
  - 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
  - 新へき地学校等級別指定に関わる調査・要望活動を進める。
  - へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。
- 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。
  - 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、道小、道中、道P連、学校地域教育研究支援センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
  - 「全国へき地教育新聞」への寄稿、購読拡大に協力する。
  - 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

## 平成28年度 諸会議・事業一覧

月	日	曜	会 議・事 業 等
5	13	金	平成28年度定期総会 第1回組織検討委員会 第1回常任委員会 第1回企画委員会 第1回研究推進委員会
	23	月	
	23・24	月・火	
6	2	木	全へき連春季総会
	3	金	全へき連第1回理事会
	14	火	道へき・複連情報156号発行
	30	木	第2回常任委員会
7	11	月	第2回企画委員会
	11・12	月・火	第2回研究推進委員会
	27	水	第2回組織検討委員会 臨時常任委員会
	28・29	木・金	全へき連第2回理事会
	29	金	全へき連第1回図書編纂委員会
8	27	土	道へき・複連OB会総会
9	23	金	第66回全道へき地複式教育研究 大会釧路プレ大会
	28	水	第3回常任委員会 第3回企画委員会 第3回研究推進委員会
	29	木	第1回監査委員会、 評議委員会
	29・30	木・金	第65回全道へき地複式教育研究 大会渡島大会
10	12	水	全へき第3回理事会、秋季総会
	13・14	木・金	第65回全へき連青森大会
11	15	火	道へき・複連情報157号発行
	30	水	全へき連ブロック代表者会議 第4回理事会
12	1・2	木・金	第42回研究推進協議会
	2	金	全へき連第2回図書編纂委員会
1	19	木	第3回組織検討委員会 第4回常任委員会
2	13	月	第4回企画委員会
	13・14	月・火	第4回研究推進委員会
	14	火	道へき・複連情報158号発行
	16・17	木・金	全へき連第5回理事会
5	11	木	第5回常任委員会 第2回監査委員会
	12	金	平成29年度定期総会

## 1. 情報関係活動計画

## (1) 方針と重点

道へき・複連の活動状況の周知と会員の意思疎通を図るため、へき地・複式教育の糧となる情報「道へき・複連情報」を発行するとともにホームページの内容充実をめぐる。

- ① 執筆者に負担とならないよう配慮する。
- ② 年3回発行し、連盟の活動と全道の研究の様子が伝わる情報紙になるよう工夫する。
- ③ ホームページの内容充実と有効活用を図る。

## (2) 活動計画

- ① 道へき・複連情報156号の発行
  - ・発行日 平成28年6月14日(火)
  - ・内 容 平成28年度総会特集、渡島大会  
釧路プレ大会
- ② 道へき・複連情報157号の発行
  - ・発行日 平成28年11月15日(火)
  - ・内 容 第65回全道へき地複式教育研究大会  
渡島大会特集
- ③ 道へき・複連情報158号の発行
  - ・発行日 平成29年2月14日(火)
  - ・内 容 平成28年度 活動報告特集

## 2. 全国へき地教育研究連盟関係

## (1) 方針と重点

本道のへき地・複式教育は全国のへき地・複式教育の先進地であり、全国の研究を支える気構えで連携を保ち、北海道のへき地・複式教育を全国に発信する。平成11年から、全へき連業務の一部を引き継ぎ「全国へき地教育新聞」の購読拡大、原稿執筆依頼等の業務を遺漏のないように推進する。

## (2) 活動計画

- ① 「全国へき地教育新聞」購読拡大の取組
- ② 「全国へき地教育新聞」原稿執筆依頼業務の取組

## 【原稿種別】

- ・論評(市町村教育長、各局指導主事等)
- ・山紫水明(校長)
- ・随想(教頭、教務主任、学級担任等)
- ・心温まる話(どなたでも)
- ・私の推薦する一冊の本(校長、教頭他)
- ・やすらぎ保健室(養護教諭)
- ・さわやか事務室から(事務職員)
- ・わが町・わが学校(保護者)
- ・研究実践校紹介(実践校)
- ・子どもたちの学校紹介・子どもたちの作品

## 総務部

### 1 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

### 2 活動内容

- ①各地区との連携
- ②へき地教育に関する調査
  - \*全へき連基本調査への協力
- ③道へき・複連独自調査の実施
  - \*へき地・小規模・複式校における課題と対策に関わる調査
- ④陳情、要請活動
  - \*全へき連、道教委、道研、地教委 等
- ⑤関係機関との連携
- ⑥道へき・複連組織に関わる課題検討
- ⑦その他、各部に属さないこと

### 3 具体的活動

- (1) 全へき連関係
  - ①全へき連との連携を密にし、組織強化と研究推進に関して、道へき・複連の取組や要望が生かされるように努める。
  - ②へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取組をより強化し、本道の実態に即した振興策への反映に努める。
  - ③定教改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員の全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強く行う。
  - ④全へき連基本調査への協力
    - \*実態・根拠に基づく条件整備の実現に向けて
- (2) 道へき・複連関係
  - ①組織の活性化、加盟促進を目指し、へき地複式教育や道へき・複連の活動についての情報提供・交流に努める。
  - ②組織検討委員会を設け、道へき・複連の組織上の問題、全へき連負担金納入の適正化等についての検討を行う。
  - ③関係機関・団体との連携を一層強化する。
    - \*道教委、道小、道中、道研、道教大・学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門、道P連等
  - ④未加盟校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。
  - ⑤地域の課題とその対策等の調査を実施する。
  - ⑥へき地指定級見直しを視野に入れ、道教委の動きを注視し、関係機関・団体との連携を図る。
- (3) その他
  - ①道へき・複連事務局や各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
  - ②道小理事研修会に出席し、道小と道へき・複連との連携を図る。

## 研究部

### 1. 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成」

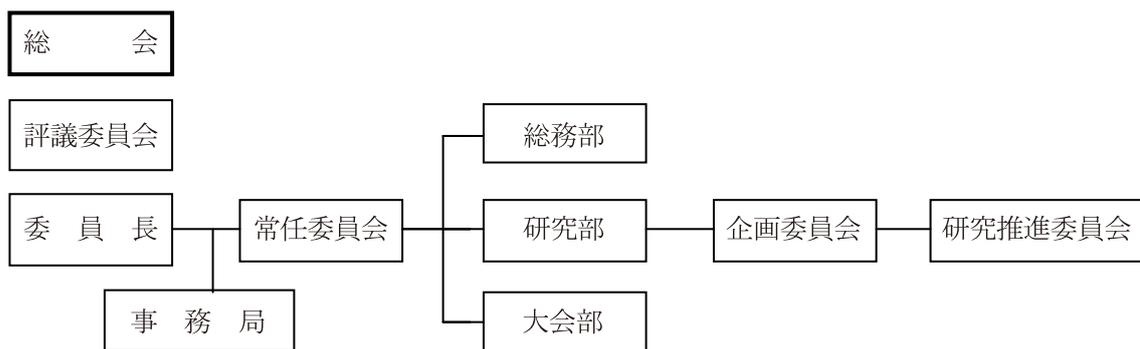
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

### 2. 活動の重点及び具体的活動内容

第9次長期5か年研究推進計画の3年次として、確かな実践研究をし、地域に根差した魅力ある教育活動を推進する。さらに指導目標の設定、指導過程や教材の工夫、学習活動における支援、評価方法の工夫等に努め、第9次長計3年次としてのまとめを行う。

- (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
  - ① 研究推進委員長を中心とする研究体制の確立
  - ② 研究推進委員会、企画・策定委員会の運営
  - ③ 各地区へき・複連研究活動への協力
  - ④ 未加盟校・小規模中学校への共同研究呼びかけ
- (2) 全道へき地複式教育研究大会、プレ大会への効果的な開催
  - ① 第65回全道へき地複式教育研究大会渡島大会の開催  
[平成28年9月29日(木)・30日(金)]  
・準備、運営等に関する協力と支援  
(共同研究者)  
・分散会の企画・運営
  - ② 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会の開催  
[平成28年9月23日(金)]  
・準備、運営等に関する協力と支援  
(共同研究者)
- (3) 第9次長期5か年計画研究推進計画における啓発と実践記録の累積・収集活動
  - \*地区へき・複連実践研究資料の蓄積と還元
- (4) 研究資料の編集と発行
  - ① 道へき・複連「研究部情報」の発行(年2回)
  - ② 道へき・複連「研究主題一覧・指導形態調査」の作成(メール送信)
  - ③ 全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
- (5) 教育関係各機関・団体との連携
  - ① 北海道教育委員会・各教育局との連携強化
  - ② 北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門との連携
  - ③ 全国へき地教育研究連盟との連携
    - ア 全へき連図書編纂委員会への参加
    - イ 全国へき地教育研究推進協議会への参加
    - ウ 第65回全国へき地教育研究大会青森大会への参加
- (6) 道へき・複連第10次長計の策定に向けての資料収集と原案作成

### ☆北海道へき地・複式教育研究連盟の組織



### 平成28年度 北海道へき地・複式教育研究連盟 役員名簿

役職名	氏名	地区	学校名	電話番号
委員長	田中和敏	上川	中富良野町立旭中小学校	0167-44-2790
副委員長	総務部	古田統	後志 黒松内町立白井川中学校	0136-73-2024
	研究部	岡嶋治	釧路 浜中町立浜中小学校	0153-64-2023
	大会部	岩崎透	渡島 七飯町立大沼小学校	0138-67-2031
監査委員	田中淳一	日高	様似町立様似小学校	0146-36-3351
	清水敏文	十勝	士幌町立佐倉小学校	01564-5-2995
財務部長	辻崎洋一	石狩	千歳市立駒里小中学校	0123-23-3237
事務局長	柿崎秀顕	胆振	むかわ町立仁和小学校	0145-44-5009
事務局次長	伊藤孝一	空知	深川市立北新小学校	0164-23-3480

### 平成28年度 地区へき・複連 委員長(会長) 事務局長

地区	委員長(会長)		事務局長		
	氏名	学校名	氏名	学校名	電話番号
石狩	河村英俊	千歳市立東小学校	今井正樹	江別市立角山小学校	011-383-4240
空知	北田正志	岩見沢市立メープル小学校	山本昌子	美唄市立峰延小学校	0126-67-2229
後志	志田純一	赤井川村立都小学校	本田明美	真狩村立御保内小学校	0136-45-3001
胆振	千阪孝	むかわ町立富内小学校	渡辺二夫	むかわ町立宮戸小学校	0145-42-2266
日高	小泉卓真	新ひだか町立桜丘小学校	田中淳一	様似町立様似小学校	0146-36-3351
渡島	岩崎透	七飯町立大沼小学校	長谷川巖	森町立駒ヶ岳小学校	01374-5-2243
檜山	小助川浩	乙部町立栄浜小学校	間宮真一	せたな町立若松小学校	0137-85-1014
上川	田中和敏	中富良野町立旭中小学校	西分健二	東川町立東川第二小学校	0166-82-3019
留萌	小澤真弓	小平町立鬼鹿小学校	石田正樹	留萌市立港北小学校	0164-42-0335
宗谷	松田孝一	豊富町立兜沼小中学校	石沢正紀	稚内市立宗谷小学校	0162-77-2010
オホーツク	比留間信一	北見市立瑞穂小中学校	須釜亨	北見市立上仁頃小学校	0157-33-2312
十勝	清水敏文	士幌町立佐倉小学校	渋谷浩	音更町立下士幌小学校	0155-31-2020
釧路	松村賢一	標茶町立中茶安別小中学校	小原正寿	弟子屈町立奥春別小学校	015-482-4819
根室	清水信也	別海町立中西別小学校	竹中幸子	根室市立落石小学校	0153-27-2040

## 平成27年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計 決算書

平成28年3月31日現在

## 【収入の部】

項 目	平成27年度予算	決 算	増(△)・減(▲)	備 考
会 費	3,251,364	3,335,058	△ 83,694	平成27年度加盟校255校、加盟会員1563名
繰 越 金	157,296	157,296	△ 0	平成26年度繰越金
繰 入 金	1,910,000	1,910,000	△ 0	運営資金会計から (宗谷大会・渡島大会 91万×2)
雑 収 入	350	12,652	△ 12,302	預金利息、払い戻し
<b>合 計</b>	<b>5,319,010</b>	<b>5,415,006</b>	<b>△ 95,996</b>	

## 【支出の部】

項 目	平成27年度予算	決 算	増(△)・減(▲)	備 考
<b>1. 研究大会費</b>	<b>1,020,000</b>	<b>1,020,000</b>	△ 0	※宗谷大会、渡島大会・プレ大会 (51万×2)
1. 謝 金	160,000	160,000	△ 0	大会講師謝礼
2. 旅 費	490,000	490,000	△ 0	大会役員旅費
3. 借料損料	20,000	20,000	△ 0	大会会場借料
4. 印刷製本	260,000	260,000	△ 0	大会開催要項、案内状
5. 通信運搬	90,000	90,000	△ 0	郵券、電話料、送料
<b>2. 研究調査費</b>	<b>1,820,000</b>	<b>1,997,674</b>	△ 177,674	
1. 旅 費	1,800,000	1,981,060	△ 181,060	企画委員会、研究推進委員会
2. 印刷製本	10,000	6,614	▲ 3,386	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
<b>3. 研成刊行費</b>	<b>1,110,000</b>	<b>1,102,600</b>	▲ 7,400	※宗谷大会、渡島大会・プレ大会 (40万×2)
1. 印刷製本	1,080,000	1,078,460	▲ 1,540	研究紀要、研究収録、『情報』誌
2. 通信運搬	30,000	24,140	▲ 5,860	『情報』誌送料
<b>4. 事務局費</b>	<b>1,369,010</b>	<b>1,173,189</b>	▲ 195,821	
1. 旅 費	1,150,000	1,031,630	▲ 118,370	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	8,000	0	▲ 8,000	
3. 通信運搬	30,000	25,257	▲ 4,743	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	110,000	90,911	▲ 19,089	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	0	▲ 30,000	
6. 予備費	41,010	25,391	▲ 15,619	議案製本、感謝状、名刺、等
<b>合 計</b>	<b>5,319,010</b>	<b>5,293,463</b>	<b>▲ 25,547</b>	

5,415,006 - 5,293,463 = 121,543

## 平成28年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計予算案

※増減は前年度予算比

## 【収入の部】

項目	平成27年度予算	平成27年度決算	平成28年度予算	増(△)・減(▲)	備考
会費	3,251,364	3,335,058	3,307,044	△ 55,680	平成28年度加盟校251校, 加盟会員1554名
繰越金	157,296	157,296	121,543	▲ 35,753	平成27年度繰越金
繰入金	1,910,000	1,910,000	1,000,000	▲ 910,000	運営資金会計から(釧路プレ研・本研分含む)
雑収入	350	12,652	363	△ 13	預金利息
<b>合計</b>	<b>5,319,010</b>	<b>5,415,006</b>	<b>4,428,950</b>	<b>▲ 890,060</b>	

## 【支出の部】

項目	平成27年度予算	平成27年度決算	平成28年度予算	増(△)・減(▲)	備考
<b>1. 研究大会費</b>	<b>1,020,000</b>	<b>1,020,000</b>	<b>510,000</b>	<b>▲ 510,000</b>	※釧路大会・プレ大会 51万
1. 謝金	160,000	160,000	80,000	▲ 80,000	大会分散会発表者旅費
2. 旅費	490,000	490,000	245,000	▲ 245,000	大会役員旅費
3. 借料損料	20,000	20,000	10,000	▲ 10,000	大会会場借料
4. 印刷製本	260,000	260,000	130,000	▲ 130,000	大会開催要項、案内状
5. 通信運搬	90,000	90,000	45,000	▲ 45,000	郵券、電話料、送料
<b>2. 研究調査費</b>	<b>1,820,000</b>	<b>1,997,674</b>	<b>1,850,000</b>	△ 30,000	
1. 旅費	1,800,000	1,981,060	1,830,000	△ 30,000	企画委員会、研究推進委員会
2. 印刷製本	10,000	6,614	10,000	△ 0	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
<b>3. 研成刊行費</b>	<b>1,110,000</b>	<b>1,102,600</b>	<b>700,000</b>	<b>▲ 410,000</b>	※釧路大会・プレ大会 40万
1. 印刷製本	1,080,000	1,078,460	675,860	▲ 404,140	研究紀要、研究収録、『情報』誌
2. 通信運搬	30,000	24,140	24,140	▲ 5,860	『情報』誌送料
<b>4. 事務局費</b>	<b>1,369,010</b>	<b>1,173,189</b>	<b>1,368,950</b>	<b>▲ 60</b>	
1. 旅費	1,150,000	1,031,630	1,150,000	△ 0	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	8,000	0	8,000	△ 0	用紙代
3. 通信運搬	30,000	25,257	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	110,000	90,911	110,000	△ 0	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	0	30,000	△ 0	会計手当
6. 予備費	41,010	25,391	40,950	▲ 60	議案製本, 感謝状, 名刺, 等
<b>合計</b>	<b>5,319,010</b>	<b>5,293,463</b>	<b>4,428,950</b>	<b>▲ 890,060</b>	



## 第65回 全道へき地複式教育研究大会渡島大会

- 研究主題 主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成  
 ～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に  
 未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- 渡島大会スローガン 伝統に息づくロマン溢れる渡島の大地から  
 未来を創る子らに 確かな学びと豊かな心を！

### ■大会日程

《1日目》9月29日(木) 全体会・分散会

12:30-13:00	13:00-13:40	13:50-14:10	14:15-16:10	16:30-16:50	移動	18:00-19:30
受付	開会式	基調報告	分散会	閉会式		歓迎交流会
ロワジュールホテル函館						

《2日目》9月30日(金) 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30-	9:00-9:45	10:00-10:45	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-15:00	15:00-15:30
受付	公開 I	公開 II	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式

### ■分科会場校一覧

分科会	会場校名 校長名 電話番号	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
第1分科会	松前町立小島小学校 中島直哉 0139-44-2004	基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ子どもの育成 ～基礎・基本の定着を図る指導方法の工夫～	学校学級経営 3 及び学習指導 6
第2分科会	知内町立涌元小学校 井岸 撰 01392-5-5219	ともに学び、磨き合い、 高め合う子の育成を図る学習指導の工夫 ～主体的・協働的な学びを育む授業を通して～	学習指導 2・7 算数科
第3分科会	北斗市立島川小学校 松村 淳 0138-77-8625	自分の思いや考えを深め、豊かに表現する子の育成 ～言語活動の充実を図り、 少人数学級における的確な支援を通して～	学習指導 7 国語科
第4分科会	七飯町立峠下小学校 白石真嗣 0138-65-2415	進んで自分の考えをもち、 伝え合い高め合う子どもの育成 ～意欲を高める学習過程の工夫を通して～	学習指導 6 算数科
第5分科会	七飯町立大沼小学校 岩崎 透 0138-67-2031	主体的に学び、ともに考え、伝え合う子の育成 ～各教科における言語活動の充実を通して～	学習指導 6・7 全教科・領域
第6分科会	森町立濁川小学校 楠美元孝 01374-7-3004	自分の考えをもって主体的に学ぶ子供の育成 ～国語科における「読む力」を高める 授業づくりを通して～	学習指導 6・7 国語科
第7分科会	八雲町立東野小学校 長崎 充宏 0137-66-2169	自ら考え、自らの学びを高めていく子どもの育成 ～算数科における学び方の指導の工夫を通して～	学習指導 6 算数科
第8分科会	八雲町立野田生小学校 角谷晴雄 0137-66-2014	自分の考えをもち、進んで伝え合う子どもの育成 ～算数科の基礎・基本となる学習を通して～	学習指導 6・7 算数科

## 第66回 全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会

- **研究主題** 主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成  
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に  
未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- **釧路大会スローガン** タンチョウはばたく釧路の大地から  
未来を切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を
- ◇ **開催期日** 平成28年9月23日(金) 全8会場
- ◇ **大会日程** 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 15:00 15:30



受付	公開Ⅰ	公開Ⅱ	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式
----	-----	-----	-------------	----	------	-----

### ◇ 会場校及び研究主題等一覧

分科会	会場校名 校長名 電話番号 メールアドレス	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
第1分科会	釧路町立昆布森小学校 佐藤健二 0154-63-2013 konbumorisho@town.kushiro.hokkaido.jp	学び方を身につけ、生き生きと活動する子どもの育成 ～自ら考え、交流し、互いに高め合う 複式授業を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 国語科
第2分科会	厚岸町立太田小学校 中村研自 0153-52-2007 s-oota@town.akkeshi.hokkaido.jp	主体的に学び深く考える子の育成 ～複式学級での国語科・文学教材の効果的な 指導を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 国語科
第3分科会	浜中町立散布小中学校 水上俊司 0153-67-2324 tirippu@phoenix-c.or.jp	自分の考えを持ち、進んで学び合う授業の構築	学校・学級経営1 学習指導6 全教科
第4分科会	標茶町立沼幌小学校 秦直人 015-488-4231 office-num@shibechea.ed.jp	自ら考え、粘り強く取り組む子どもの育成 ～自力解決のための態度や能力を高める 個に応じた指導のあり方～	学校・学級経営1 学習指導6 算数科
第5分科会	標茶町立塘路小中学校 須藤加津宏 015-487-2140 office-tor@shibechea.ed.jp	自らの学びを拓き、生き生きと学び通す子どもの育成 ～子どもが予想を立て、解決の方法を探る 展開の工夫～	学校・学級経営3 学習指導6・7 算数科
第6分科会	弟子屈町立奥春別小学校(会場校) 小原正寿 015-482-4819 okushunbetsu@okushou-5.hs.plala.or.jp 弟子屈町立美留和小学校 榊勉 弟子屈町立和琴小学校 鳴海厚	自ら学び、豊かな心で たくましく郷土を切り拓く子どもの育成 ～かかわり合いながら、学ぶ楽しさを味わえる 「集合学習」のあり方を求めて～	学習指導8 全教科
第7分科会	鶴居村立下幌呂小学校 大川英雄 0154-65-2252 simohororo@educet.plala.or.jp	ともに学び合い、一人ひとりが 学びを実感する子どもの育成 ～学びの連続性を生かした授業づくりを通して～	学校・学級経営1 学習指導6 算数科
第8分科会	白糠町立茶路小中学校 鈴木紳一 01547-2-2797 charochu@educet.plala.or.jp	かかわり合いながら学びを深め、 自分の考えを表現できる子どもの育成 ～9年間の系統性を意識した指導を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 全教科